

世界的な異常気象について - 西日本防災システム

1

2013 01 23

最近地球規模で気象が狂い始めているようです。

エルサレムでは1月10日に20センチの積雪があり、市内の交通がストップしてしまいました。20年ぶりの大荒れの天候だったようです。雪の重みで多くの木々が倒れ、公園では人々が雪合戦を始めました。子供達は大喜びですね。**オーストラリア**では全土で記録的な猛暑となり、同国気象庁は、前例のない気温に備えて、準備を整えているようです。元日から8日間は記録的な暑さで、とくに1月7日は平均気温が40度と、過去最高を更新しました。高温による森林火災なども頻発しているようです。世界のほかの地域も同様に異常気象に見舞われています。**アメリカ東部**と北ヨーロッパの広い範囲で春のような天気恵まれた一方で、**東京**では14日に市街地で8センチの積雪となりました。これは平年の年間累積降雪量の半分以上に相当するそうです。**中国**では1月上旬の平均気温が零下4度まで下がり、ほぼ30年ぶりの寒さとなりました。渤海の莱州湾では、1000隻以上の船が氷に閉じ込められ、身動きが取れなくなってしまいました。**寒!** 同時期に、**ブラジル北東部**は熱波と干ばつに襲われ、当局は10年ぶりに電力の配給制の導入を検討しているそうです。**リオデジャネイロ**では43度という史上最高気温を観測しました。**暑!**

11日に公表された全米気候評価(NCA)報告書では、このような異常な気候が標準となりつつあると警告しています。同時にこの異常気象の頻度と長さは、気候変動の明確な兆候であるともしています。夏は暑く、長くなり、酷暑の時期が、アメリカ人の誰もが経験したことがないほど長期間続くようになっています。冬は全般に短く、温暖化しています。雨は激しく降りますが、多くの地域で、雨の降らない乾燥した期間が長くなっているともしています。米国海洋大気庁(NOAA)国立気候データセンターは、2012年はアメリカ本土で観測史上最も暑い年だったと発表しました。全米で9900万人以上が38度以上の日を10日以上経験し、2012年の平均気温は、20世紀の平均気温よりも約1.8度高かったとしています。暑い季節は 暑く 寒い季節は 寒く これはとてもいいことなのですが 限度ものですよね！

どうなる 地球！ どこへ行くんだ 地球よ！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ



世界的な異常気象 - 西日本防災システム

2

〈これからも異常気象は続くのでしょうか〉

気候変動の厄介な兆候はほかにもあるようです。

北極海を覆う氷の面積が、2012年の後半から、過去最小のレベルにまで縮小しているそうです。

アメリカ国立雪氷データセンター(NSICD)によりますと、9月半ばには、北極海の半分近くの海面から氷が消えたそうです。白くま達は大丈夫？

北極海の海水温が上がると北極圏上空のジェット気流のパターンが変化し、低緯度地方でも異常気象の可能性が高まるという説を唱える科学者もいるそうです。

このように年明けから奇妙な天候ばかりが続いていますが、エルニーニョがこの冬に、多くの専門家の予想通りに発達していたなら、もっとひどいことになっていたかもしれないそうです。

エルニーニョの時期には、太平洋上の低気圧のパターンにより、暖かく乾いた天候の地域が増えるのが普通なんですって。

その結果オーストラリアなどでは深刻な干ばつに襲われたり、熱波が長く続いたりするそうです。ですが、エルニーニョは予想に反して昨年11月に消えてしまいました。もし消えていなければ、オーストラリアの熱波はもっと激しくなっていたと予想されるそうです。

民間気象予報サービス会社「ウエザー・アンダーグラウンド(Weather Underground)」の気象学者ジェフ・マスターズ氏は、次の様に述べています。

アメリカの「2012年の大干ばつは、いまや2年越しの干ばつになろうとしている」そして「現在のよ
うな規模の乾燥した状態がこのまま春まで続けば、今年の夏も激しい干ばつに襲われる可能性が
高い。またしても数百億ドルの被害が生じるだろう・・・」と。ええええ！

どうなる 地球！ どこへ行くんだ 地球よ！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

